

インテリアでも人気がつづくビンテージスタイル。ビンテージ風のよさは、年数を経てでる変化やキズがあじとなる風合いを再現したもの。本当は本物のビンテージをあじわいたいですよね。本物は変わる美しさと、変わらない美しさ、どちらもあわせもつから愛着がわく。ウッドワンがご提案する無垢は、長持ちするようになった現代の住宅だからこそ、ぜひ取り入れて欲しいアイテムです。

ホンモノのあかし <経年美化>のあじわい

木は、使いこむほどにしっとり落ち着いた色に変わっていきます。これは「経年美化」と呼ばれ、木の細胞に含まれる樹脂が、長い時間をかけてさ。木の使いかたや、置かれる環境によって色の変化もさまざま。「わが家だけの色」になっていくのは無垢の木ならではの楽しみですね。10年後、20年後、その表情には、家族の歴史もしっかりと映し出されていることでしょう。



経年美化でよりしっとり → 展示して数年たったウォールナットのキッチン。黒っぽさから徐々に赤みを帯びたあたたかな色合いになってきた頃。木の成分が細胞にしみわたり、しっとり落ち着いた色、上品なつやに変化していきます。

自然の力が働く経年美化は、メーカーの加工ではできない癒し空間をつくります。ほっと一息つくお家に、本物をお薦めする理由の一つです。



あたたかさを増す経年美化 ↑ニュージーパイン® 10年以上経った様子。徐々に赤みを増した景色は、見た目にも「あたたかみ」「なごみ」を感じ、より「自然な」印象をあたえます。



ホンモノのあかし <二つとない表情>は木の個性

例えば街中で自分と同じ服の人を見かけると、少し残念な気持ちになることはありませんか。無垢の木であれば、同じ樹種・同じ商品を選んだとしても、表情が全て異なります。そのおうちにしか出せない個性と心地よい変化が生まれます。



木取りで出る濃淡その差が美しい | 節や葉節は木の成長の証し | 不揃いな木目は自然なリズムが心地よい | 経年美化すると、木目がさらに際立ち美しさが増す

●木目はやすらぐ●

木目には人工物にはない自然なリズムがあります。木を見るとやすらぎを感じる理由の一つです。さらにPOINT！好ましい木の空間とは、空間全体の約40～80%までと言われます。程よく木を取り入れて、やすらぎの空間をつくりましょう。



メープルの枠組扉。赤白の濃淡が美しく、無垢の木の扉らしさが光る。リビングから見ると、壁付けのキッチンが、風景のように美しい。

ホンモノのあかし <ずっとく長もち>

10周年を迎えたスージー。実は、ウッドワンの無垢の木のキッチンの歴史は発売して20年以上になります。その中で学んだこと、それは、無垢の扉はより長く家族と暮らしているということです。



←約20年経ったニュージーパイン®扉のキッチン。美しいアメ色に変化した以外大きな変化は見られない。お住まいの奥様も大満足。無垢だから、シートの様に剥がれる心配なく、長持ちしてくれます。

↓一般的なシート貼りのキッチン扉。毎日の炊事の現場は湿度・温度の変化など、とても過酷！こんな風に残念な状況になった例もあります。



●実験してみました●

ホントカナ。そんな疑問を解消すべく水にドボン！実験※1してみました。



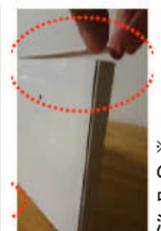
1日後...



変化なし！



水分で膨らみが...



その後剥がれてしまった木口テープ

※1実験では給水促進の界面活性剤入りの中性洗剤を入れた水に浸しています

一生をかけて、できれば次世代まで受け継いでいける住まいにしたい。きっと本来は誰もがそう願いながら、我が家を手に入れてきたはず。無垢の木だから、その願いにこたえられます。更に最大の魅力は、キズやシミもあじわいとして自らに取り込んでいけるたくましさ。何十年以上も風雨に晒されながら育った木にとって、人がつける生活キズぐらいどうってことはありません。キズを恐れる暮らしではなく、キズを受け入れられる、のびやかで素直な暮らしをもたらします。ウッドワンプラザで、ぜひ無垢の木のキッチンをご体験ください。